授業科目の区分	専門科目	授業科目	科学技術英語演習 II (JABEE コース)	講義番号	Ｃ３０４ Ｃ３２８ Ｃ３２９
		欧　文	Practice in English for Science & Technology - Part II - (JABEE Course)		

担当教官名	対象年次	開講期	授業時数	選択・必修の別	単位数
物質工学科教職員	3	後期	３０	必修	1
曜日、時限		講義室			

概略	「科学技術英語演習 I」に引き続き、科学技術者に必要なコミュニケーション能力の基礎として、科学技術一般および専攻に関連する単語や文章の reading、listening、speaking、writing を学習する。特に技術論文の構成を学ぶとともに、実際に論文で頻出する表現を中心に和訳・英作文の練習を行う。
一般目標	科学技術英語について「読む」「聞く」「話す」「書く」ことを総合的に学習することにより、科学技術者に求められる国際コミュニケーション能力の向上をはかる。
個別目標	１．科学技術英語論文・特許の構成の理解 ２．論文に頻出する基本英語表現の writing skill の向上 ３．Written English の速読力の向上
受講要件	「科学技術英語演習 I」の内容を十分に復習しておくこと。 TOEIC 対策として、例えばテレビ講座や英字新聞などを利用して普段から英語に慣れ親しむように努める。
履修上の注意	和英辞書、英和専門辞書を用意し毎回持ってくること。 TOEIC スコアが成績に加味されるので、各自受験することが望まれる。

授業内容			
	1	概要、科学論文の基礎（１）	技術英語論文、論文構成
	2	科学論文の基礎（２）	投稿規定、作成マナー
	3	論文内容（１）	表題、概要
	4	論文内容（２）	緒言
	5	論文内容（３）	実験
	6	論文内容（４）	実験
	7	論文内容（５）	結果
	8	論文内容（６）	結果
	9	論文内容（７）	考察
	１０	論文内容（８）	考察
	１１	論文内容（９）	結論、謝辞、引用文献
	１２	論文内容（１０）	図表の説明文
	１３	Sample paper（１）	概要、緒言、実験
	１４	Sample paper（２）	結果、考察、謝辞
	１５	様々な技術系英文	特許、取扱説明書

成績評価	成績は演習と TOEIC スコアを合わせた複合的なものとし、演習課題の評価を70%、TOEIC スコアによる評価を 30%とする。TOEIC スコアについてはスコア 20 を 1%と換算し、評価上限スコア 600 で 30%分とする。このとき一桁目のスコアは切り捨てる。全体の学習度が 55%を満たしている場合を合格とする。演習の出席が 2/3 に満たない場合は評価の対象外となる。
関連科目	共通科目英語、物質工学基礎演習、反応工学、移動現象論 I・II、科学技術英語演習 I、セミナーI、セミナーII
JABEE との関連	共通基準の「基準１(1)(f)の国際的に通用するコミュニケーション基礎能力」に対応する。
アンケート	最後の講義の時間にアンケートを行うので、日ごろからそのことを念頭に受講すること。
教材	テキスト：「Judy 先生の英語科学論文の書き方」野口ジュディー、講談社サイエンティフィク 参考書：「化学工学英語入門」新山浩雄他、講談社サイエンティフィク
相談時間	随時
連絡先	各担当教官
備考	